

北海道で20年床工事業の拡大に努める

オリジナルデッキシステムの開発も

ケーワンシステム・設立20周年感謝の集い



20周年の歴史を振り返り語る原田社長

原田社長は「この20年を振り返ると様々なことがあった。20年前は、万協フロアの施工を手掛けていた。20年での会を行うのはおこがましいと思うが、この日があるのも協力会社さまのおかげで、

北海道を中心に二重床の供給と施工を行うケーワンシステム(札幌市、原田重一社長)協、トーヨーマテリアは10日、札幌ホテルヤマチ(札幌市)で「設立20周年感謝の集い」を開催。同社とのかかわりが深い丹波屋、万協、トーヨーマテリアなどの関係者が参加した。

20年間やってこられたことに感謝をするための会という趣旨で開かせてもらった。感謝の気持ちを感じたい」と語った。

万協(東京都)の清水雅弘社長は「ケーワンシステムの良い床を提供をしたい。床に対する情熱はメーカーとしてのくほだ。原田社長は20年間苦勞された

と、現場からのニーズをつかみ、床に対する情熱で事業をさしてきたと思う。ウツドデッキの普及拡大に向けていろいろなアイデアの性能データを備

えたK-1デッキ文書タイプなど、デッキシステムも開発されており、今後の事業展開をますます楽しみにしたい」と語った。また、同社社員の紹介や、映像による同社20年の歴史の振り返りなども行われ、参加者とともに20年の出来事や苦勞をねぎらい、にぎやかに談笑する姿が目立った。